

平成18年7月7日、下永谷小学校でホタル観賞会が行われました。このホタルは、S.S.C.や下小の6年生の子供達が幼虫から育てて学校に放したもので、今年で2年目になります。約400人も参加があり、大勢の人がホタルを観賞しました。まだ5匹ほどしか観察できませんでしたが、これからS.S.C.はこうした活動も積極的にしていきたいと感じました。

## ホタル観賞のマナー

ホタルの成虫は長くても、7~10日の命。しかも、絶滅の危機に瀕している希少な生き物です。車のライト、懐中電灯や携帯電話などの光はホタルが仲間だと勘違いして寄ってきてしまい、生態系を壊す可能性があります。できるかぎりつけないように観賞しましょう。どうしても光が必要な場合は、赤いセロハンを懐中電灯に巻いて使しましょう。ホタルはとても繊細な生き物。音などにも反応してしまうおそれがあるので、極力静かにしよう。また、周囲の観賞客はもちろん地域住民の迷惑になるので騒がないように注意しましょう。

\*これはホタルを観賞する最低限のマナーです。生き物を思いやる心に少しでも繋がるのではないのでしょうか？



ちっちゃくて可愛い！  
見る時はそっとしておいてね！

## 活動のお知らせ

7月29日(土)30日(日) 9:30~16:00 環境エネルギー館にて  
『身近な生き物体験博物館』

私達の身近にいる生き物が大集合！間近で観察してみよう！

行き方...JR鶴見駅東口または京浜急行鶴見駅  
より川崎鶴見臨港バス(7番乗り場)  
「ふれーゆ」行で約15分

## ~コラム~

はじめまして！今回を書かせていただきました。私は現在大学で植物について勉強しています。大学では植物だけでなく、自然全体を視野に入れた勉強やフィールドワークを学んでいます。

そのきっかけとなったのは、下永谷小学校で多くの生き物に触れ、生き物と人間との尊い生命を感じ取ることを学んでいたからだと感じております。

そして友人の誘いもあって、またこの学校でS.S.C.として生き物に接することが出来ました。下小の子供たちに私が生き物と接して感じた『生命』を、少しでも伝えていけたらと思います。(Aさん)

## 植物豆知識

ひまわりはキク科の1年草。8~9月茎の先に黄色の大きな花をつけます。観賞用に栽培されるほか、種は食用になり油もとれます。

キク科の植物の花は、茎の先が頭のようにふくらんでいて、その上に小さなたくさん花が並んでいます。これらの小さな花は外から中心に向かって順番に咲きます。ひまわりの大きな花はじつは小さな花がたくさん集まってできています。ひまわりの語源は日廻り、つまり日を追って回る花という意味です。実際に若い茎や咲き始めの花は太陽を追って回ります。しかし、花がよく開いた後は動かなくなり、多くの花は東向きに咲きます。枝分かれして花がいくつも咲く種類の場合は、いろいろな方向に向かって咲きます。